

令和8年度

レポート様式および内容について

石中社研究員 大塚 憲司
(江別市立野幌中学校)

<参考様式>

歴史	石教研社会科（中）部会レポート	
令和8年〇〇月〇〇日（〇） 江別市立野幌中学校 大塚 憲司		
《項目例》		
1 単元(題材)名 第4章 私たちの暮らしと経済 1節 消費生活と経済活動		
2 単元や本時における石中社の研究との関わりについて (1)生徒が切実性・必要性を感じ、学びに向かう気持ちを高める「資料提示・活用の工夫」 (2)生徒の学びに向かう気持ちを、「知識・技能の習得」「社会的な見方・考え方を働かせた思考・判断・表現」につなげる「資料提示・活用の工夫」 (3)「資料提示・活用」を単元や本時の学習に効果的に生かす工夫 等について記述します。		
3 単元の指導計画 ⇒あくまでも例です。単元の学習の流れが大まかに見える形のもので十分です。		
	学習内容	項目2との関わり等
単元の目標 ・身近な消費生活を中心に、…、…について理解する【知】 ・消費生活の多様性を…、多面的、多角的に考察し、表現する。【思】 ・自分の消費行動が…、…とする態度を育成する。【主】		
1	家計ってなんだろう	
2	消費者を守るもの、 支えるもの	
3	生産と消費を結ぶ	
4 (本時)	自立した消費者を目指して	導入で、資料として『買い物は投票なんだ』という書籍の表紙を提示。「買い物」＝「消費」が社会に与える影響とは？といった問いにつなげる。 展開で、フェアトレードの仕組み、…、の資料を段階的に提示。グループ内での対話を通して、消費に関わる社会的事象について知識を習得するとともに、消費について多面的・多角的に考察する。 最後に、エシカル消費に関わる資料を提示。そこから再度、『買い物は投票なんだ』と言われる意味について考え、問いに対する自分の考えをまとめる。
4 本時の略案 ・単元の指導計画同様、学習の流れが大まかに見える形のもので十分です。		